



2025 年 5 月 1 日

各 位

会社名 株式会社はてな  
代表者名 代表取締役社長 栗栖 義臣  
(コード：3930、東証グロース)  
問合せ先 コーポレート本部長 田中 慎樹  
(TEL. 03-6434-1286)

## オブザーバビリティプラットフォーム「Mackerel」の APM 機能正式リリースに関するお知らせ

当社は、オブザーバビリティプラットフォームの「Mackerel」において、2025 年 4 月からベータ版として提供してきた APM（アプリケーションパフォーマンスモニタリング）機能を本日 2025 年 5 月 1 日に正式リリースしたことをお知らせします。

### 記

#### 1. APM 機能正式リリースの背景

2014 年 9 月のサービスリリース以降、「Mackerel」が注力してきたサーバー監視・管理を取り巻く状況も変化しました。近年、クラウドネイティブをはじめとするシステムアーキテクチャの進化により、システム全体の状態を把握し、未知の課題に対応するための概念である「オブザーバビリティ」の重要性が高まっています。

「Mackerel」でも、より複雑な問題やシステムの変化に対応していくため、今後は「始めやすく、奥深い、可観測性プラットフォーム」として、オブザーバビリティ領域の開発を推進していきます。技術面ではオブザーバビリティ標準である OpenTelemetry を基盤として対応環境を拡充しつつ、導入しやすくチームに浸透しやすい「Mackerel」らしいオブザーバビリティ体験を実現してまいります。

#### 2. 「Mackerel」APM 機能の概要

APM とは、アプリケーションの性能や処理状況を可視化し、パフォーマンスの最適化や問題の早期発見・原因特定を支援する技術や機能の総称です。

「Mackerel」の APM 機能では、アプリケーションの性能劣化やエラーの状況を把握し、原因の特定から解決までをスムーズに行えることを目指しています。従来のインフラ監視に加え、トランザクション単位での詳細追跡や HTTP リクエスト・データベースアクセスのボトルネック特定を実現し、アプリケーションの監視やオブザーバビリティ向上に貢献します。

APM 機能の詳細や料金体系については、以下のページをご覧ください。

<https://mackerel.io/ja/blog/entry/announcement/20250501>

#### 3. 今後の見通し

本機能提供開始による 2025 年 7 月期の業績へ与える影響は軽微と見込んでおりますが、中長期的に当社の業績向上に資するものと考えております。今後開示の必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

以 上